

乳房超音波検査

仰臥位となり、乳房にゼリーを塗って、その上からプローベと呼ばれる機械を乳房に当て、超音波を用いて検査を行います。通常痛みは伴いません。特に腫瘤の診断に有用です。触診では見つけることの出来ない小さな病気も検出することが可能です。また、若い方など乳腺の発達した方で、マンモグラフィによる病変の検出の困難な方にも有用な検査です。マンモグラフィ同様、超音波診断についてもカテゴリーを用いた診断が推奨されてきております。また最近では、腫瘤の弾力性を測定することで、良悪性などの質的診断を行うことができる、エラストグラフィという超音波検査も行われてきております。